

平成30年度 大阪教育大学「学生表彰」学生業績

学長表彰(2名)

○小角 春奈(コスミ ハルナ)教養学科スポーツ専攻

【業績概要】

一回生から四回生まで、本学剣道部の主力として、また四回生は主将として活躍。

<4回生>

- ・第12回全日本女子学生剣道東西対抗試合西軍代表勝利, 優秀選手賞受賞
- ・第33回西日本女子学生剣道大会(団体)優秀選手賞受賞(2年連続)

<3回生>

- ・関西女子学生剣道優勝大会(団体)準優勝
- ・西日本女子学生剣道大会(団体)3位, 優秀選手賞受賞
- ・全日本女子学生剣道選手権大会(個人)出場

<2回生>

- ・関西女子学生剣道優勝大会(団体)3位
- ・西日本女子学生剣道大会(団体)準優勝
- ・全日本女子学生剣道選手権大会(個人)出場

<1回生>

- ・関西女子学生剣道優勝大会(団体)優勝
- ・全日本女子剣道選手権大会(個人)(奈良県代表)出場

○村松 沙耶(ムラマツ サヤ)教養学科スポーツ専攻

【業績概要】

第3回U-22東アジアハンドボール選手権大会2015の日本代表に選ばれ, 第3位の成績をおさめた。

さらに, 2017年では全日本学生選手権大会(全日本インカレ)において, チームを準優勝に導くとともに, 優秀選手賞及び得点王に輝くなど, 在学中課外活動において特に顕著な成果をおさめた。

学長特別表彰(5名, 3団体)

○赤嶺 梨緒(アカミネ リオ)教養学科スポーツ専攻 3回生

【業績概要】

自由形の選手として, 日本選手権水泳競技大会で第6位, 日本学生選手権水泳競技大会において第7位に入賞する等, 国内最高峰の決勝の場で活躍する等, 水泳選手として素晴らしい成績を

残した。

- 1.日本選手権水泳競技大会 1500m 自由形 第6位
- 2.日本学生選手権水泳競技大会 800m 自由形 第7位

○高木 夏海(タカギ ナツミ)教員養成課程小中教育専攻保健体育コース 2回生

【業績概要】

2018年12月16日 第13回全日本学生剣道オープン大会, 女子参段以上の部, 優勝。

○浦上 喜帆(ウラガミ ユキホ)教育協働学科スポーツ科学専攻 2回生

【業績概要】

- ・平成30年度全日本学生テニス選手権大会で シングルス ベスト32
ダブルス ベスト48

○吉留 明夏里(ヨシトメ アカリ)特別支援教育特別専攻科

【業績概要】

特別支援教育を学ぶ一方, 陸上円盤投で日本トップクラスの実績を残した。

- ①2018-2019 シーズン女子円盤投ポイントランキング 第3位
- ②2018 日本グランプリシリーズ水戸招待陸上 第5位
- ③2018 日本学生陸上競技個人選手権大会 第6位
- ④天皇賜盃 第87回日本学生陸上競技対校選手権大会 第7位
- ⑤第56回近畿地区国立大学体育大会 優勝

○油田 一彌(ユダ カズヤ)大学院教育学研究科芸術文化専攻書道コース 1回生

【業績概要】

日経 BP 社主催の「みんなのラズパイコンテスト 2018」にて, 「寺院安全管理システム」という作品タイトルで学生章(学生応募作品の中で最優秀賞)を受賞した。

○剣道部 <代表者>嶋 将輝(シマ マサキ)

【業績概要】

<女子>

- 第37回全日本女子学生剣道優勝大会(団体) ベスト8 敢闘賞受賞
- 第51回全国教育系大学剣道大会(団体) 優勝

<男子>

- 第66回関西学生剣道優勝大会(団体) 3位
- 第31回関西学生剣道新人大会(団体) 準優勝

○女子ハンドボール部 <代表者>森 陽子(モリ ヨウコ)

【業績概要】

2018年関西学生春季リーグ戦(1部所属)で準優勝、西日本学生ハンドボール選手権大会で準優勝をおさめる。さらに、日本ハンドボール選手権大会に出場(近畿予選を経て1チームのみ出場)し、ベスト16に入賞するなど課外活動において特に顕著な成果をおさめた。

○障がい学生修学支援ルーム学生スタッフ

<代表者>加藤 萌々子(カトウ モモコ), 鈴木 憲(スズキ ケン), 汰木 里奈(ユルキ リナ)

【業績概要】

本学では障がい学生修学支援ルームにおいて修学支援を推進するため、「学生スタッフ制度」を設け、学生の主体的な活動参加を奨励している。

障がい学生修学支援ルーム学生スタッフは、障がい学生支援に係る(1)自主研修の企画実施、(2)広報活動、(3)学内及び他大学学生等交流会企画実施参加、(4)支援機器活用の検討、(5)学生会議の実施等の取り組みを主体的に推進し、自らの資質向上に励むとともに、本学における障がい学生支援の充実に多大なる貢献をしてきた。

なお、これらの功績は対外的にも評価されることとなり、平成30年10月28日、日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク主催「第14回日本聴覚障害学生高等教育支援シンポジウム」内「実践事例コンテスト」で『グッドプラクティス賞』を受賞した。

学生支援実施委員会奨励賞(1名, 1団体)

○中原 優希(ナカハラ ユウキ)教養学科スポーツ専攻 4回生

【業績概要】

バタフライ及び個人メドレーの選手として、日本選手権(4回生)、ジャパンオープン(3, 4回生)、FINAスイミングワールドカップ東京大会(4回生)、日本学生選手権(4年連続)に出場した。

さらに、全国国公立大学選手権では、4年連続で2種目決勝進出、3回生、4回生では2年連続で2種目3位以内に入賞する等、水泳選手として素晴らしい成績を残した。

○ICT教育支援ルーム 学生サポートスタッフ <代表者>該当なし

【業務概要】

ICT教育支援ルームの学生サポートスタッフが、業務の利便性を向上させるために利用している「どこでもお部屋チェッカー」を、みんなのラズパイコンテスト2018(日経BP社主催)に応募し、厳正な審査の結果、「優良賞」として表彰された。